

## 河川事業の再評価概要書

( ) は、前回再評価時

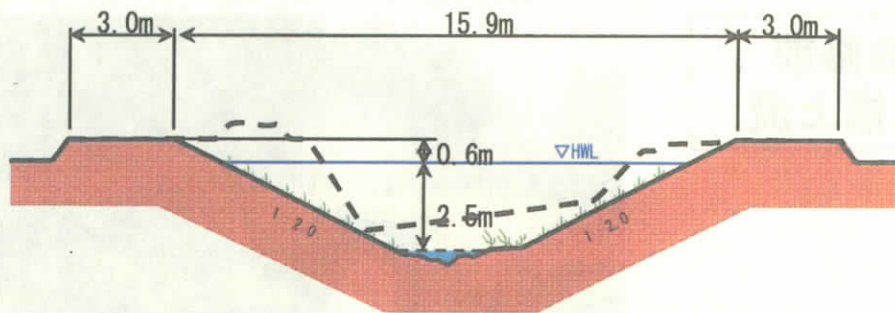
番号		6	
事業主体		栃木県	
事業名	安全な川づくり事業	事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 田川	事業箇所名	宇都宮市、日光市
事業区間	宇都宮市石那田地先～ 日光市木和田島地先	事業延長	8,300m
平成14年度事業化		平成14年度用地着手	平成15年度工事着手
事業期間	H14～H38	事業進捗状況	基準年次：【平成28年度末時点】
[うち用地補償費] 全体事業費	[4.4億円] 21.3億円		[うち用地補償費] 既投資事業費
進捗率 [25%] 37%			
事業概要			
<p>田川は、日光市七里地先に源を発し、宇都宮市街地を流下し、上三川町、下野市、小山市を経て、茨城県結城市で鬼怒川に合流する一級河川である。</p> <p>計画区間は、屈曲が著しく、河川断面が狭小で流下能力が不足していることから、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が生じている。</p> <p>そこで、河川断面の拡大、並びに遊水地の整備を行うことにより、氾濫を防止し浸水被害の解消を図る。</p>			
事業を巡る社会経済情勢の変化、事業計画の大幅な変更等			
計画区間では、県営圃場整備事業（田川沿線地区A=67.4ha）がH15に完了した。			
事業の投資効果			
① 費用対効果分析結果			
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】
1) 事業全体	B/C=3.0	67.9億円	22.9億円 [L=8,300m 区間]
2) 残事業	B/C=3.9	45.4億円	11.6億円 [L=2,500m 区間]
② 事業の整備効果等			
整備を図ることにより、宅地や農地の浸水被害が解消される。			
事業の進捗状況等			
① 事業の進捗状況			
事業延長 8,300m のうち、宇都宮市と日光市の市境から新細内橋までの 5,800m の暫定整備が完了している。			
② 今後の事業進捗の見込み			
今後の事業については、関係機関との調整を図りながら整備を進める。			
コスト縮減等			
① コスト縮減方策			
河川工事で発生した土砂は、他事業へ流用し、工事費の縮減を図る。			
② 代替案立案等の可能性			
大半の用地を圃場整備事業と調整を図っている、計画区間より下流の宇都宮市街地内において、川幅を広げることが困難な状況のもとでは、遊水地の整備により下流への負担を抑制する本計画が最適である。			
事業の対応方針(案)	現計画で事業を継続する。		

# 事業箇所(位置図、概要図)

位置図

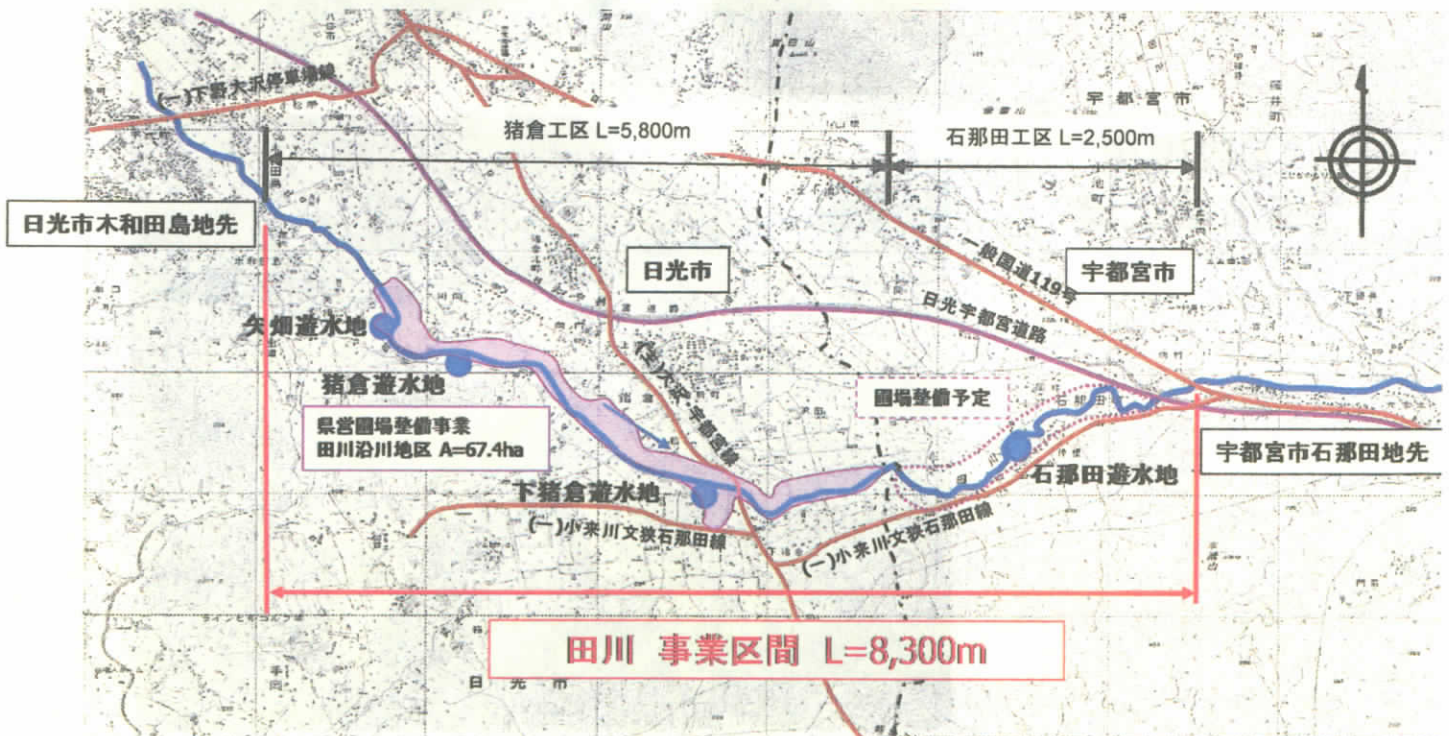


標準断面図



計画流量	85m <sup>3</sup> /s
現況流下能力	概ね55m <sup>3</sup> /s

概要図



①出水状況  
日光宇都宮道路  
上流



②改修前  
田川橋上流



③改修後  
田川橋上流

